

信經

我信ずわれしん 一の神ひとつ かみちちぜん父全能者のうしや 天てんと地ち 見みゆると見みえざる萬物ばんぶつを造つくりし主しゆを。又信ずまたしん 一の主ひとつ しゆイイススハリストス神かみの獨生どくせいの子こ 萬世よろづよの前にさき父ちちより生うまれ 光ひかりよりの光ひかり 眞まことの神かみよりの眞まことの神かみ 生うまれし者ものにて造つくられしに非あらず父ちちと一いつ体たいにして萬物ばんぶつ彼かれに造つくられ 我われ等ら人々ひとびとの爲ため又また我われ等の救すくいの爲ために天てんより降くだり 聖神せいしん及および童貞女どうていじよ マリヤより身みを籍とり人ひとと爲なり 我われ等の爲ためにポ  
ンティイピラトの時とき 十字架じゆうじかに釘くぎうたれ 苦くるしみを受うけ 葬ほうむられ 第三日だいさんじつに聖書せいしよに叶かなうて 復活ふっかつし天てんに升のぼり 父ちちの右みぎに坐ざし 光榮こうえいを顯あらわして 生いける者ものと死しせし者ものを審判しんはんする爲ために還また來きたり

その国くに終おはりなからんを。又信ずまたしん 聖神せいしん主しゆ生命いのちを施ほす者もの 父ちちより出いで 父ちち及および子こと共ともに拜あがまれ 讚ほめられ 預言者よげんしやを以もつて嘗かつて言いひしを。又信またしんず 一の聖せいなる公おおやけなる使徒しとの教會きやうかいを。我われ認みとむ 一の洗禮せんれい以もつて罪つみの赦ゆるしを得うるを。我望われのぞむ 死者ししやの復活ふっかつ並ならびに來世らいせいの生命いのちを。「アミン」

天の王

天てんの王おう 慰なぐさむる者ものや眞實しんじつの神しん在あらざる所ところなき者もの 満みたざる所ところなき者ものや萬全ばんぜんの寶藏ほうぞうなる者もの 生命せいめいを賜たまふの主しゆ 來きたり 我われ等らの中うちに居あり 我われ等らを諸々もろもろの穢けがれより潔いさぎよくせよ 至善者しぜんしやや我われ等らの靈たましいを救すくい給たまへ

## 天主經

天に在す我等の父や願は爾の名は聖とせ  
られ爾の國は來り爾の旨は天に行はるる  
が如く地にも行はれん我が日用の糧を今日  
我等に與へ給へ我等に債ある者を我等免す  
が如く我等の債を免し給へ我等を誘いに  
導かず猶我等を凶悪より救い給へ。蓋國  
と權能と光榮は爾に世世に歸す。「アミン」

## 常に福

常に福にして全く玷なき生神女吾が神  
の母なる爾を福なりと稱ふるは眞に當  
れりヘルウィムより尊くセラフィムに並

びなく榮え貞操を壞らずして神言を生みし  
實の生神女たる爾を崇讚む